



梓川の
世帯数・人口

世帯数	4,829戸
人口	12,238人
男	6,067人
女	6,171人

(令和5年.11.1現在)



横沢地区

秋の例大祭

9月25日から26日に八幡社・日吉社合殿の例大祭が華やかに執り行われました。

4年ぶりとなる例大祭では、横澤祭囃子保存会による山車の曳航、梓川小学校児童による浦安の舞奉納などが行われました。氏子総代の高沢弘光さんは「露店も出て子どもたちもたくさん来てくれて、コロナ禍前と同じ華やかなお祭りができて嬉しい。来年はさらに賑やかにしていきたい」と話してくれました。

お囃子の指導などを行う保存会指導部の太田正道さんは「祭囃子は楽譜が無く、継承が大変。世代ごと伝えていくことが大事なので、今回開催できてよかったです」現在山車が通るのは横沢公民館から神社までだが、横沢は3町会あるので山車のルートを工夫するなど、地区全体に広げていきたいと話していました。久しぶりのお祭りを皆さん笑顔で楽しんでいました。



▶山車の曳航



▶祭囃子



▶浦安の舞



▶横澤祭囃子保存会の皆さん

梓川東保育園

運動会



9月27日(水)梓川東保育園で運動会が開催されました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類へと移行し、3年ぶりにマスクの着用や入場人数に制限を設けない形での開催となり、子どもたちや保護者の笑顔が会場を包み、温かい雰囲気での運動会となりました。

梓川東保育園では、2・3歳児が行う第1部と4・5歳児が行う第2部に分かれて、かけっこ・縄跳び・竹馬やリズム運動など、日ごろ保育園で行っている運動遊びの成果を子どもたちが発表していました。中でも年長児が行うリレー競技では大人顔負けの緊迫感の中、全力で走る子どもたちに大きな声援が飛んでいました。転んでしまった友達を応援する姿や、リレーで負けたチームの子どもが悔しがらぬ友達の手を引きながらウイニングランをする姿が印象的でした。



▲一致団結 バトンをつなげ!



▲リズム運動 忍者、大作戦!

長も感じる事ができた、とても良い運動会だった」との声が聞かれました。これからも、子どもたちがコロナ禍前の生活に戻りさまざまな体験を重ね成長していつてくれることを願っています。

秋のごみゼロ運動

10月1日午前6時30分から秋の梓川地区ごみゼロ運動が行われました。

毎年2回行われているごみゼロ運動。大久保町会では小学生5人を含む36人が参加し、自分の住む地域が綺麗になるようごみ拾いを行いました。

黙々とごみ拾いをする姿や、子どもたちは保護者や友人に「タバコがいつぱい落ちている」など声を掛け合いながらごみを拾う姿がありました。空き缶・空き缶のほか、タバコの吸い殻やビニール袋が多く捨てられていて、参加者からは「綺麗になって気持ちがいい!」「春もごみ拾いをしたのに、こんなにごみが落ちてくるなんて悲しい」「タバコを吸う人はマナーを守って欲しい」と言う声が聞かれました。地域を綺麗にするだけでなく、身近にもあるポイ捨てへの考え方や、普段あまり関わらない地域の人たちの良い交流の場にもなりました。



▲空き缶を分別

地域を支える消防団

消防団では毎月15日の夜に管内で異常がないか巡回しています。9月に松本市消防団第39分団の巡回の様子を取材しました。39分団は横沢、氷室、岩岡地区を担当しています。夜の8時から消防車に乗り込み、いざ出発です。赤色灯を点け、「カーンカーン」と警戒音を鳴らしながら巡回しました。この日も何事もなく詰所に帰還し、管内の夜は静かに戻っていききました。

消防団は管内巡回以外にも火災現場への出動、行方不明者捜索、消火栓点検など私たちが安心して暮らせるようにサポートしてくれています。分団長の二村さんは「団員は20代から40代の32人が所属し

ており、皆さん会社員や自営業の本業を持ちながらも協力して活動に取り組んでいます。地域の仲間が出来るきっかけにもなりますので、興味がある方はぜひ参加頂きたい」と話していました。消防団活動を継続していくためには消防団員が増えることが必要です。消防団に興味のある方は、松本市消防防災課(☎33-1191)までお問合せください。



▲39分団の皆さん

AI活用バス「のるーと」

10月2日人工知能(AI)を活用した乗り合いのオンデマンドバス「のるーと」松本の出発式が行われ、来年3月までの実証運行がスタートし

ました。加藤町会連合会長は「梓川は交通空白地だったので期待が大きい。4月以降も運行継続できるよう多くの人に利用してもらいたい」と呼びかけていました。新しい交通システムが「地域の足」として定着するよう、乗車してみてください。



▶出発式テープカット



▶梓川を運行するバス

雑記帳

10月に入りめっきりと涼しくなりました。今年は秋も無く冬に突入したように感じます。例年今の時季だとマツタケの話題がでるのですが、今年は夏の異常な暑さと雨不足の影響でしょうか、話はでるのですがあきらめた感がある会話で少し寂しいです。

もう食べた方もいるのかと思います。今年のマツタケは初競りで1キロ数十万の値段が付いたそうです。「今年も食べてみたい」

もう一つの秋を代表する食べ物といえばサンマです。数年前は手頃な値段で購入できたのに、今年のサンマも高値がつきなかなか手が届きません。先日食べに行った海鮮居酒屋さんでも仕入れが高すぎると嘆いていました。

「新サンマ食べたらい」季節ごとに旬の食べ物が収穫でき、食べることができていたのに、温暖化の影響が分かります。少しずつ変わってきているようで、今後が心配です。

以上、秋の味覚を楽しみにしている、食いしんぼうのおじさんのつぶやきでした。

